

中川正春の永田町かわら版

2005/7/20 第238号

【編集元】民主党三重第2区総支部 衆議院議員中川正春事務所

E-mail: g03063@shugiin.go.jp

三重／〒513-0013 鈴鹿市国分町453-7 TEL:0593-73-3933/FAX:0593-74-3088

東京／〒100-8981 千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館428号室 TEL:03-3508-7128/FAX:03-3508-3428

○身近なことを実現する民主党へ

「民主党が政権を担うというなら、もっとはっきりと改革の中味を主張すべきだ。三重県は、特に民主党の勢力が強い。それだけに、自民党時代と何が違うか具体的に皆に示す必要がある。中川さん、あんたの責任やぞ。」こうした指摘を受けて、二つのことをやり始めました。

一つは、次の統一地方選挙に向けて、県議会の皆さんに、会派「新政みえ」のマニフェストをつくってもらう事。具体的な数値目標と、いつまでに実現するという期日を入れて、県民に政策実現を約束します。

二番目は、こうした政策を作る過程で、市民に積極的に参加してもらう機会を作ること。さっそく、四日市と亀山で民主党が主催して「住民の声を実現する会」を開きます。テーマは安心と安全。四日市では、別山団地で市民の防犯活動の青色回転灯を実現した伊藤嗣也さんが中心となって、「防犯や防災」の分野で参加者が知恵を出し合うことになりました。亀山は、川崎小学校区で、子供達の「居場所」を考える運動で頑張っている一見政幸さんが中心となって「子供の安全、安心」をテーマに議論をします。

当日は、地元の市議会議員、県議会議員、そして私ももちろん参加をします。市民の中から出てくる問題解決の知恵を、行政や法律に翻訳したり、予算に反映させるために、何をしなければならないか、一緒に考えます。皆さんもぜひ参加してください。

四日市会場 市民文化会館第3ホール

7月24日日曜日 19時開始

亀山会場 市民文化会館2階会議室

9月24日土曜日 13時30分開始

○解散か。迷走する郵政民営化

解散含みの郵政民営化議論になってきました。参議院では、自民党の18人が反対にまわることになるだろうとか、いや、ドン青木は、それを許すはずがないとか、さまざまに

ささやかれています。しかし、本当のことは、その時(採決の時)になってみないと分かりません。小泉さんのやる事がムチャクチャだといくら周りで言っても法案が否決されれば衆議院は解散。私達は即、首になって、9月に総選挙です。

○拉致を6者協議の議題に。

人権法案の成立を。

8月1日に、北朝鮮の人権(拉致問題と脱北者)についての国際議員連盟総会を、東京で開きます。今その準備に追われています。韓国、アメリカ、モンゴルから30人を越える国会議員を迎えて私たちが主催をします。北朝鮮の国内で苦しむ国民や中国に潜伏する脱北者、また、韓国では480人ももの拉致被害者がおり、その救済に奔走するNGOの皆さんが来日して悲惨な現状を訴えます。

私の思いは3つ。第1に、日本の拉致問題を、日本だけの問題にしないこと。韓国にもある拉致、離散家族の問題、また北朝鮮の中の強制収容所や、脱北者の問題等、みんなに共通する普遍的な課題を「人権侵害」問題と捉えてNGOと協力して国際的なネットワークをつくること。第2に、この問題を6カ国協議のテーブルに載せること。(現状は、拉致が日本だけの問題としてとらえられ、6カ国協議の共通テーマにすることを拒否されている。)第3に、北朝鮮「人権法案」の成立にむけ韓国、アメリカ、日本が国会議員レベルで共通してアピールすること。(現状は、アメリカ議会でのみ成立。日本は、私たち民主党が国会提出、韓国ではハンナラ党が提出。)

3年前に北朝鮮は、貨幣経済に踏み切り、これまでの闇市場が表市場に踊りだしてきたような現状にあるといえます。その混乱の中で、社会不安が体制の崩壊に結び付く可能性が大きいという現状を、周りの国が危機感を持って対応することが大切です。核の脅威より体制崩壊の方が深刻だと指摘する専門家もいます。